

様式第1号（第7条関係）

## 和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和5年9月21日

和泉市長 へ

団体名 いずみの森の会

代表者名 浅見 峯一

所在地 和泉市伯太町6-8-32

電話番号 090-3627-7960

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	自然観察体験・工作体験
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース                      □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	70,700 円 (うち、対象経費 70,700 円)
支援金 交付申請額	47,000 円

### 1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミノモリノカイ		
団体名	いずみの森の会		
団体の目的	本会は市民ボランティアによる森林の手入れ、健全な森林づくり活動を行い、併せて森林ボランティアや森林指導者の養成を行う。		
市内事務所の所在地	〒594-0023 和泉市伯太町6-8-32 浅見		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（ ）】		
電話	090 (3627) 7960	FAX	なし（ ）
フリガナ	アサミ ムネカズ		
代表者氏名	浅見 峯一		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※ アサミ ムネカズ	電話	090 (3627) 7960
	浅見 峯一	FAX	なし（ ）
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設立年月	平成17年3月	主な活動地域	和泉市中部・南部
会報等の発行	有（ 回発行） ・ 無	会員数	50人
メールアドレス	[REDACTED]		
ホームページ	http:// なし		
主な事業内容	和泉市林業協議会主催の市民ボランティアによる「和泉の国の森づくり」に2003年から参加。森林ボランティアの養成講座のお手伝いや自然観察会・工作体験を開催している。		
主な活動の実績	山主さんの要望で主に南横山地域で荒廃した森林の整備を20年続けています。公園サポーターに登録して松尾寺公園と宮ノ上公園、かぐらざき公園で竹林などを整備中。まなびのプラザフェスタなどで工作体験を出店し、木や竹の利用もすすめています。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)
	無	無	無

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	自然観察体験・工作体験
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等	
<p>ひと昔前は、里山などで材料を調達して自分たちで日用品やおもちゃを製作していました。今は大量生産の時代で何でも購入できます。自然の材料で工作することが減っています。自然の恵みを利用して竹ポックリやどんぐり駒など簡単な工作でつくる楽しみを子供たちに伝えます。公園サポーター活動で伐採した竹などを工作体験などに有効利用しています。</p>	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果	
<p>工作体験を通じて、子どもたちに作る楽しみや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与します。工作体験に使用する材料は自然の素材で、竹で太さや形は微妙に違う素材です。工作を始める前の材料選びから創造の世界です。子どもたちは工作体験でできた竹ポックリやカエルを親に自慢しています。自分が作った作品にうれしそうにしています。作品が完成することで子どもが自信になればと思います。又、既製品では味わえない、天然資源のすばらしさ実感してもらうほか、木の実などの採取を通じて自然の多様性を実感してもらいます。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
① 問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。	
<p>一般の家庭でも身近な材料で簡単な工作はできますが、道具や細かな材料を揃えるのにお金と時間が必要です。人が集まるイベントで工作体験を出店し、工作の面白さを体験できる機会を提供します。いずみの森の会主催で樹木の観察会「自然観察体験」で樹木の種類の多さや特徴を学習して自然に親しむ機会を提供します。</p>	
② 実施期間（日時）	5月、6月、10月 まなびのプラザフェスタや独自に開催する体験会
③ 実施場所	宮ノ上公園、いずみ中央公園、内田町河川公園、その他
④ 主な対象者	出店イベントに来場した子ども及び親子の家族
⑤ 参加予定者数	不特定（イベントの来場者に体験してもらう） 体験者数の予想、竹ポックリ60人、竹カエル250人、どんぐりの駒づくり80人 観察会20人
⑥ 告知方法	イベント開催者からの出店告示、自主開催事業は図書館や公共施設にチラシの掲示を依頼します。

5 事業スケジュール	
次期（月）	内容
5月	まなびのプラザフェスタ（ノコギリ体験、竹カエル）
6月	内田町ホタルの観察会出店（ノコギリ体験、竹カエル）
10月	植物観察会（樹名板作成 and 手作り工作）
10月	まなびのプラザフェスタ（どんぐりの工作、竹ポックリ）
臨時	物品販売など
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2 審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
① 公益性	和泉市の自然は和泉市民の宝です。貴重な自然を未来につなげるためには一定の整備が必要です。森林や公園の整備をした時に廃棄物が発生します。公園では景観の問題で伐採した竹は焼却処分しています。焼却する竹を利用して子どもたちの工作の材料に利用しています。廃棄物減量の効果は微々たるものですが、子どもたちに作る楽しみや面白さを伝えることで、創造性豊かな子どもの育成に寄与しています。天然素材のすばらしさを実感してもらいます。
② 継続性	いずみの森の会は市内のイベントで工作体験を10年以上出店しています。イベントブースで活動の紹介もしています。子どもたちと工作するのが好きな会員も多く、これからも工作体験の機会を増やしたいです。出店時に募金のお願いと作品販売をおこない、財源確保に努めます。
③ 実行性	いずみの森の会は市民ボランティアの集まりですが、発足してから20年継続して活動しています。会全体の事業としては、森林整備や公園整備などを年20回以上実施し、20年間の活動における市民ボランティア参加者は延べ7000名以上です。活動に10年以上参加している経験豊富なベテランさんも多く、工作体験に積極的に参加する会員も多いです。
④ 協働性	市民ボランティア活動で荒廃した山林の整備を20年前からはじめています。公園の竹林整備も10年以上続けています。これらの伐採竹を利用して、工作体験を和泉市林業協議会や和泉市公共施設管理公社、内田町ボランティア蛸の会など様々な団体と連携して実施しています。
⑤ 公開性	会が主催する工作体験は公共施設にポスターの掲示を依頼します。各種団体が主催する大きなイベントに出店する時は主催団体のチラシに掲載されることもあります。また、出店時には看板を設置して宣伝しています。
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	現在は、各種団体のイベントへの出店ですが、今後はイベントの回数を増やしたいです。出店時に「いずみの森の会」の活動を紹介するパネル展示も実施しています。工作のバリエーションを増やして面白さを広げています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： 自然観察体験・工作体験事業

1. 【収 入】 （単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	47,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	6,000円	工作体験料・物品販売
	6,000円	工作物販売
	3,000円	体験者からの寄付
自主財源	8,700円	会員の寄付
合 計	70,700円	

2. 【支 出】 （単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費	7,500円	交通費
消耗品費	53,160円	動眼、ヒートン、ボンド、紐、マーカー、サンドペーパー、テープ、ボンド、針金、ノコギリ、爪楊枝、電動式ドリル、消毒液等、作業用コンテナ、体験時必要な消耗品
印刷製本費	4,400円	チラシ（A4 白黒 60部） ポスター（A3 カラー 10部） 植物観察会用資料 （A4 カラー 5ページ 20部）
役務費	1,200円	保険代
原材料費	4,440円	樹名板用木材
合 計	70,700円	
対象経費	70,700円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書 追加資料

1 団体名	いずみの森の会
2 事業名	自然体験・工作体験
3 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
4	<p>令和5年度事業における反省点・課題・問題点とそれをどのように改善するかについて記入してください。</p> <p>5月と10月のまなびのプラザフェスタは前年度を比較して来場者が少なかったと思います。工作体験希望者が昨年より減少したので工作体験をゆっくりと楽しんでもらえました。</p> <p>まなびのプラザフェスタでは工作体験の希望者は3歳児から小学3年生までの子どもが多いです。その体験者の能力に応じてサポートすることが重要ですが、スタッフは作品を早く完成するように手助けをしてしまいます。子どもの能力に応じた指導・手助けのするように心がけたいです。安全面も含めて受付で工作の手順などを説明することが大事だと実感しました。体験希望者に事前説明の充実を図ります。工作体験のスタッフは高齢者が多いです。継続して活動を進めるには新規スタッフの育成が求められています。</p>
5	<p>令和6年度事業において以下のことについて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに取組む事項</li> <li>・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項</li> <li>・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項 等</li> </ul> <p>・新たに取組む事項 市民に広く知ってもらえるように宣伝方法を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業と比較し発展・拡大が見込める事項</li> </ul> <p>令和5年度と同じ内容で実施するので発展・拡大が見込める事項は特にありません。若い会員さん(60歳以下)で工作体験のスタッフをする人も少し定着してきました。工作体験を継続することで、工作指導のスタッフ育成につながればと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他支援金を受けることで事業計画・予算・地域や市民に与える効果等に变化がある事項</li> </ul> <p>誰でもが気軽に工作体験をできるように体験料を1回10円以上募金としました。気安く体験できる価格設定にできたのは、支援金のおかげと感謝しています。昔は工作指導や体験は家庭や地域で行われていたと思います。お金をかけずに自分で作るのが当たり前だった時代がありました。</p> <p>工作体験は不要な竹の利用ということもありますが、地域で知恵や技術を伝承していたことを再現しているだけのことです。又、工作をできる子どもを育てることで、自分で好きなものを工夫して作る、想像力豊かな子どもに育てる、お金を使わず余暇を楽しむ人を育てるといった効果もあると思います。</p>

※本資料に記載いただいた内容を含め審査を行います。